

氏名	種別	内容
新倉 悠人、中山 和彦、谷仲 謙一、玉田 直己、坪井 康典、田中 秀和、小林 成美、新家 俊郎、江本 憲昭、平田 健一	学会報告	圧正常化CTEPH患者に対する追加BPA効果の検討 第一回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 東京（2016年10月1日）
谷仲 謙一、中山 和彦、玉田 直己、大西 裕之、新倉 俊郎、江本 憲昭、平田 健一	学会報告	CTEPHに対するPBA前後の病変別圧格差の特徴 第一回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 東京（2016年10月1日）
鈴木 陽子、池田 宏二、中山 和彦、八木 敬子、江本 憲昭	学会報告	胚上皮細胞におけるエンドセリン-2の分子遺伝子学的解析 第一回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 東京（2016年10月1日）
玉田 直己、中山 和彦、谷中 謙一、大西 裕之、新倉 悠人、片山 直人、山口 雅人、新家 俊郎、江本 憲昭、平田 健一	学会報告	肺動脈塞栓術で喀血コントロールしたPDA-Eisenmenger症候群の1例 第一回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 東京（2016年10月1日）
依藤 健之介、鈴木 陽子、上村 裕子、辻 剛、八木 敬子、中山 和彦、池田 宏二、平田 健一、熊谷 俊一、江本 憲昭	学会報告	ボセンタンによる肝機能障害関連ゲノムバイオマーカーの検索 第一回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 東京（2016年10月1日）
坪井 康典、小林 成美、寺下 大輔、玉田 直己、小川 直人、小槇 広大、中山 和彦、田中 秀和、酒井 良忠、江本 憲昭、平田 健一	学会報告	肺高血圧症患者の唾液アミラーゼ活性は運動耐容能低下を反映する 第一回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 東京（2016年10月1日）
Noriaki E.	講演	The pathophysiological role of the endothelin family in vascular remodeling in the lung The 24th Annual Meeting of the Japanese Vascular Biology and Medicine Organization Nagasaki（2016年12月8日）
Emoto N.	講演	Pulmonary Hypertension in Congenital Heart Diseases: Treat and Repair Approach. <i>The 15th Vietnam National Congress of Cardiology</i> ヴェトナム ハノイ（2016年10月9日）
江本 憲昭	講演	肺高血圧症Update: 診断のピットフォールと病態を踏まえた治療法 第64会日本心臓病学会学術集会 東京（2016年9月23日）
江本 憲昭	総説	肺高血圧症 初期診断・治療・管理のすべて 肺高血圧症の病態生理の本質 内科 117 371-374（2016）査読無し
玉田 直己、江本 憲昭	総説	循環器薬物療法UPDATE エンドセリン受容体拮抗薬のエビデンスと今後の可能性 医学のあゆみ 259 1475-1483（2016）査読無し
江本 憲昭	総説	肺高血圧症UPDATE 血管内皮機能不全から見たPAH 医学のあゆみ 2017/11/14（2016）査読無し
江本 憲昭	総説	肺高血圧症の病態と治療 2016 Up to Date 特発性肺動脈性肺高血圧症に対する治療戦略 呼吸と循環 64(6) 554-559（2016）査読無し
玉田 直己、江本 憲昭	総説	エンドセリン受容体拮抗薬 腎と透析 80 535-540（2016）査読無し
江本 憲昭	講演	肺高血圧症Update: 診断のピットフォールと病態を踏まえた治療法 第64回 日本心臓病学会学術集会 東京（2016年9月23日）
Kazuhiko, Nakayama	講演	An Update on the Diagnosis and Treatment of Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension <i>Cardiology Update 2016</i> Jogjakarta（2016年5月13日）
Noriaki, Emoto	講演	Burden of Congenital Heart Disease in Developed Country versus Developing Country <i>Cardiology Update 2016</i> Jogjakarta（2016年5月13日）
Noriaki, Emoto	講演	Step by step diagnosis and management of pulmonary hypertension, why are pulmonary hypertension patients frequently underdiagnosed? <i>The 25th Annual scientific Meeting of the Indonesian Heart Association</i> Jakarta（2016年4月15日）

江本 憲昭	著書	急性心不全の救急・集中治療管理 327-333 (2016)
Noriaki, Emoto	講演	CTEPH: New Science, New Treatment <i>The 25th Annual scientific Meeting of the Indonesian Heart Association</i> Jakarta (2016年4月15日)
池田 宏二	学会報告	血管内皮-成熟脂肪細胞クロストークによる脂肪血管新生制御と脂肪組織恒常性維持機構の解明 日本内分泌学会総会 京都 (2016年4月21日)
Agian Jeffilano Barinda, Koji Ikeda, Dhite Bayu Nugroho, Donytra Arby Wardhana, Ken-ichi Hirata, Noriaki Emoto	学会報告	Vascular senescence-messaging secretome induces premature senescence in adipocytes and impairs systemic metabolic homeostasis. <i>European Society of Cardiology 2016 Congress</i> Rome Italy (2016年8月27日)
Dhite Bayu Nugroho, Koji Ikeda, Agian Jeffilano Barinda, Donytra Arby Wardhana, Ken-ichi Hirata, Noriaki Emoto	学会報告	Angiogenic adipokine Neuregulin-4 ameliorates adipocyte dysfunction associated <i>American Heart Association Scientific Session</i> , with obesity by regulating adipose tissue angiogenesis. New Orleans, Louisiana (2016年11月12日)
天野 郁子、肥塚 崇男、鈴木 秀幸、土反 伸和	学会報告	香気成分の生産細胞で高発現する輸送体遺伝子の時空間的な発現解析 第39回日本分子生物学会 横浜 (2016年11月30日)
津山 濯、土反 伸和、矢崎 一史、高部 圭司	学会報告	広葉樹及び針葉樹分化中木部におけるリクニン前駆物質の輸送メカニズム 第11回トランスポーター研究会 京都 (2016年7月2日)
後藤弓絵、岡部友紀、南翔太、林田南帆、中原洋子、矢崎一史、土反 伸和	学会報告	タバコ毛状根を用いた Nt-NCS1 輸送体の解析 第11回トランスポーター研究会 京都 (2016年7月2日)
土反 伸和、津山 濯、高部 圭司、矢崎 一史	学会報告	Intracellular movement of monoglucoside via membrane transport 第57回日本植物生理学会年会 岩手 (2016年3月18日)
Shitan N., Minami S., Morita M., Hayashida M., Tsuyama T., Moriyama Y., K Takabe., Goossens A. Yazaki K.	学会報告	Nicotine translocation and accumulation via distinct spatio-temporal regulation of nicotine transporters in <i>Nicotiana tabacum</i> <i>17th International Workshop on Plant Membrane Biology</i> Annapolis, USA (2016/6/5-10)
Shitan N.	総説	Secondary metabolites in plants: transport and self-tolerance mechanisms <i>Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry</i> 75 982-984 (2016) 査読有り
Fukuda Y, Tanaka H, Ryo-Koriyama K, Motoji Y, Sano H, Shimoura H, Ooka J, Toki H, Sawa T, Mochizuki Y, Matsumoto K, Emoto N, Hirata KI	論文	Comprehensive Functional Assessment of Right-Sided Heart Using Speckle Tracking Strain for Patients with Pulmonary Hypertension <i>Echocardiography</i> 33 1001-1008 (2016) 査読有り
Akashi K, Saegusa J, Sendo S, Nishimura K, Okano T, Yagi K, Yanagisawa M, Emoto N, Morinobu A	論文	Knockout of endothelin type B receptor signaling attenuates bleomycin-induced skin sclerosis in mice <i>Arthritis Res Ther</i> 113(18) 0000-0000 (2016) 査読有り
Sano H, Tanaka H, Motoji Y, Fukuda Y, Mochizuki Y, Hatani Y, Matsuzoe H, Hatazawa K, Shimoura H, Ooka J, Ryo-Koriyama K, Nakayama K, Matsumoto K, Emoto N, Hirata KI	論文	Right ventricular relative wall thickness as a predictor of outcomes and of right ventricular reverse remodeling for patients with pulmonary hypertension <i>Int J Cardiovasc Imaging</i> 0000-0000 (2016) 査読有り
日本薬学英语研究会(JAPE) 平井清子、金子利男、堀内正子(責任者)、齋藤弘明、板垣正、河野享子、金澤洋子、玉巻欣子(編集委員)、田沢恭子、山田恵、井原久美子、和治元義博	著書	薬学生のための英語1 55-62, 102-109 (2016)
玉巻欣子、田内義彦	学会報告	発信型海外薬学研修に向けた取り組み—米国の薬科大学での英語プレゼンテーション実践報告— 日本社会薬学会第35年会 札幌 (2016/9/10-11)

玉巻 欣子	学会報告	外国人模擬患者を利用した薬学英語教育—4年次「実用医療英語」実践報告— 第1回日本薬学教育学会 京都（2016/8/27-28）
日本医学英語教育学会編.入交重雄、川越栄子、相見良成、濱西和子、長谷川仁志、岩田淳、守屋利佳、平野美津子、黒住和彦、Baoul Breugelmans、高田淳、玉巻欣子、福沢嘉孝、森茂、五十嵐裕章、服部しのぶ、陰山幾男、James Hobbs、平孝臣、鈴木光代、一杉正仁、安藤千春、塩田充、芦田ルリ(掲載順)	著書	医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep 1 60-71（2016）
岩田大地, 長濱裕幸, 武藤潤, 安岡由美	学会報告	特異スペクトル変換法を利用した大気中ラドン濃度異常検知と地震活動 日本地質学会第123年学術大会 東京（2016年9月10日）
安岡 由美	講演	大気中のラドン濃度変動と地震 第47回生体応答科学 研究セミナー 弘前（2016年11月4日）
田邊ともみ、細田正洋、安岡由美、城間吉貴、赤田尚史、山田椋平、岩岡和輝、床次眞司	学会報告	弘前市内の天然水中ラドン濃度の測定と線量評価 日本放射線影響学会第59回大会 広島市（2016年10月26日）
新井友里愛, 藤井さとみ, 神代悠希, 安岡由美, 福堀順敏, 森康則, 北村尚, Mirosław Janik, 片岡賢英, 杉原眞司, 緒方良至, 和田眞由美, 向高弘	学会報告	活性炭型ラドン検出器と液体シンチレーションカウンタによる空気中ラドン濃度決定 第66回日本薬学会近畿支部大会 大阪府高槻市（2016年10月15日）
石原万己, 南のどか, 新井友里愛, 安岡由美, 長濱裕幸, 武藤潤, 飯本武志, 大森康孝, 床次眞司, 向高弘	学会報告	連続測定におけるラドン濃度測定器の比較 日本保健物理学会第49回研究発表会発表 弘前（2016年6月30日）
岩田 大地、長濱 裕幸、武藤 潤、安岡 由美	学会報告	特異スペクトル変換法を利用した大気中ラドン濃度異常変動解析 日本地球惑星科学連合2016年大会 千葉（2016年5月22日）
安岡 由美	講演	ラドン濃度変動と地震 —地震先行現象の痕跡を排気モニターに求めて— 立命館大学 放射線教育訓練 草津（2016年4月16日）
南のどか, 田中綾, 安岡由美, 長濱裕幸, 武藤潤, 飯本武志, 大森康孝, 床次眞司, 向高弘	学会報告	AlphaGUARDを用いた空気中ラドン濃度測定の検討 日本薬学会第136年会 横浜（2016年3月28日）
新井友里愛, 若林亜希子, 安岡由美, 岩岡和輝, 床次眞司, M.Janik, 福堀順敏, 向高弘	学会報告	活性炭型ラドン検出器の液体シンチレーションカウンタによるラドン濃度決定 第17回「環境放射能」研究会 つくば（2016年3月8日）
Arai Y., Wakabayashi A., Yasuoka Y., Iwaoka K., Tokonami S., Janik M., Fukuhori N., Mukai T.	プロシーディング	Radon testing in air using a PICO-RAD collector measured with a simplified liquid scintillation counter. In: <i>Proceedings of the 17th Workshop on Environmental Radioactivity, KEK Proceeding 2016-8</i> 233-238（2016）査読有り
城間吉貴, 城間勝人, 喜納正剛, 細田正洋, 安岡由美, 赤田尚史, 古川雅英.	論文	沖縄県玉泉洞における洞内大気中ラドンの起源 保健物理 51(4) 218-226（2016）査読有り
Hosoda M., Ishikawa, T., Yasuoka, Y., Sahoo S.K., Katoh S., Ogawa M., Ogashiwa, S., Iwaoka K., Tokonami S.	論文	Estimation of external and internal doses resulting from the use of artificial radon spa sources <i>Radiat. Environ. Med.</i> 5(1) 46-52（2016）査読有り
津川尚子, 廣野順介, 鎌尾まや, 中川公恵, 岡野登志夫	学会報告	ビタミンD受容体遺伝子欠損マウスにおける筋肉細胞分化調節因子の発現と筋肉量の関係 第18回日本骨粗鬆症学会 仙台（2016/10/6）
廣野順介, 川口貴美乃, 鈴木篤史, 長谷川潤	学会報告	末梢神経損傷の損傷部位における血管内皮細胞の集積と役割 フォーラム2016 衛生薬学・環境トキシコロジー 東京（2016/9/10）
安田佳織, 西川美宇, 高松将士, 生城真一, 中川公恵, 津川尚子, 岡野登志夫, 榊利之	学会報告	CYP27B1遺伝子欠損マウスにおける25-ヒドロキシビタミンD3の代謝解析 Metabolism of 25-hydroxyvitamin D3 in CYP27B1 knockout mice 日本ビタミン学会第68回大会 富山（2016/6/18）
高松将士, 西川美宇, 安田佳織, 阿部圭祐, 中川公恵, 岡野登志夫, 津川尚子, 生城真一, 榊利之	学会報告	CYP27B1遺伝子欠損マウスを用いた25-ヒドロキシビタミンD3の生理作用の検証 日本ビタミン学会第68回大会 富山（2016/6/18）

津川尚子, 和田美紅, 金尾記聖, 鎌尾まや, 中川公恵, 岡野登志夫	学会報告	ビタミンD遺伝子欠損マウスの心血管系機能解析 日本ビタミン学会第68回大会 富山 (2016/6/18)
鎌尾まや, 山村翔太, 神谷有紀, 長尾真里, 佐方俊介, 津川尚子, 岡野登志夫, 長谷川潤	学会報告	ビタミンD受容体欠損マウスの生殖機能不全に及ぼす高カルシウム食の影響 日本ビタミン学会第68回大会 富山 (2016/6/18)
中川公恵, 澤田夏美, 木本貴士, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	ビタミンK2合成酵素UBIAD1の脳神経系における機能解析 日本ビタミン学会第68回大会 富山 (2016/6/17)
鈴木篤史, 長谷川潤	学会報告	神経突起伸長における細胞膜ダイナミクスによる細胞骨格制御機構 第63回日本生化学会近畿支部例会 神戸 (2016/5/12)
鎌尾まや, 神谷有紀, 長尾真里, 佐方俊介, 山村翔太, 須原義智, 岡野登志夫, 中川公恵	学会報告	培養細胞におけるビタミンKのMenaquinone-4への変換反応と変換中間体Menadioneの生成 日本薬学会136年会 横浜 (2016/3/29)
廣田佳久, 中川公恵, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	ビタミンK変換酵素UBIAD1タンパク質の機能解析 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/29)
中川公恵, 澤田夏美, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	脳神経系におけるビタミンK2合成酵素UBIAD1の機能解析 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/29)
Tsugawa N, Uenishi K, Ishida H, Ozaki R, Takase T, Minekami T, Uchino Y, Kamao M, Okano T	論文	Association between vitamin D status and serum parathyroid hormone concentration and calcaneal stiffness in Japanese adolescents: sex differences in susceptibility to vitamin D deficiency. <i>J. Bone Miner. Metab.</i> 34(4) 464-474 (2016) 査読有り
編集: 佐治英郎, 前田稔, 小島周二 (向高弘ら著)	著書	新放射化学・放射性医薬品学 改訂第4版 (2016)
Hagimori M., Murakami Y., Mizuyama N., Tominaga Y	論文	A novel one-pot method for the synthesis of pyrimidine derivatives using ketene N,S-acetal with aryl aldehydes <i>J. Heterocycl. Chem.</i> 53(1) 197-201 (2016) 査読有り
中原広道, 萩森政頼, 向高弘, 柴田攻	学会報告	還元型テトラジン誘導体と生体膜構成脂質の相互作用評価 第33回日本薬学会九州支部大会 鹿児島 (2016/12/3)
香本祥汰, 萩森政頼, 向高弘, 上田真史	学会報告	核磁気共鳴画像法による卵巣癌診断能の向上を目的とした自己組織化ナノ粒子プローブの開発 第55回日本薬学会中国四国支部学術大会 岡山 (2016/11/5)
山内健生, 萩森政頼, 平野優里, 向高弘	学会報告	全身性アミロイドーシス診断を目指した放射性ヨウ素標識化合物の体内動態評価 第66回日本薬学会近畿支部大会 高槻 (2016/10/15)
樋口真理子, 萩森政頼, 向高弘	学会報告	フコイタン被覆自己組織化ナノ粒子によるがん細胞の傷害性の検討 第66回日本薬学会近畿支部大会 高槻 (2016/10/15)
谷浦真奈, 萩森政頼, 向高弘	学会報告	亜鉛イオンに特異的な蛍光プローブの合成及び蛍光特性の評価 第66回日本薬学会近畿支部大会 高槻 (2016/10/15)
弓削文乃, 田中将史, 向高弘	学会報告	脂質-スチレンマレイン酸共重合体ナノディスクの細胞取り込みにおけるRGDペプチド修飾の影響 第66回日本薬学会近畿支部大会 高槻 (2016/10/15)
香本祥汰, 萩森政頼, 向高弘, 上田真史	学会報告	葉酸受容体を標的とした自己組織化ナノ粒子MRIプローブの合成と基礎評価 第16回放射性医薬品・画像診断薬研究会 京都 (2016/10/1)
高瀬ひろか, 中村友紀, 田中将史, 山田俊幸, 向高弘	学会報告	HDLを構成している血清アミロイドAにリン脂質組成が及ぼす影響 第89回日本生化学会大会 仙台 (2016/9/25)
田中将史, 沖野希, 高瀬ひろか, 川上徹, 山田俊幸, 向高弘	学会報告	AAアミロイドーシスで沈着するSAA(1-76)ペプチドの線維形成能評価 第4回日本アミロイドーシス研究会学術集会 東京 (2016/8/19)
萩森政頼, 佐治英郎, 向高弘	学会報告	細胞内遊離亜鉛イオンの検出を目的とした蛍光プローブの開発 第27回日本微量元素学会学術集会 京都 (2016/7/31)
三宅央泰, 田中将史, 向高弘	学会報告	スチレン-マレイン酸共重合体を用いたHDL模倣ナノ粒子の作製における脂質組成の影響 第26回バイオ・高分子シンポジウム 東京 (2016/7/28)

田中将史, 細谷晃, 橘由香, 日野陸人, 三宅央泰, 向高弘	学会報告	合成高分子を用いたHDL模倣ナノ粒子の作製と生体イメージング応用の検討 第26回バイオ・高分子シンポジウム 東京 (2016/7/28)
森山理央, 萩森政頼, 千石梓, 向高弘	学会報告	がんの核医学及び蛍光イメージングを目指したヒアルロン酸被覆ナノプロブの開発とがん細胞への集積性の検討 第11回分子イメージング学会 神戸 (2016/5/28)
田中将史, 高瀬ひろか, 関山慶紀, 灘中里美, 北川裕之, 向高弘	学会報告	AAアミロイドーシス発症に及ぼすグリコサミノグリカン硫酸基の影響 第63回日本生化学会近畿支部例会 神戸 (2016/5/21)
中村友紀, 高瀬ひろか, 田中将史, 向高弘	学会報告	脂質存在下における血清アミロイドAの酵素消化とそれに及ぼす脂質組成の影響 第63回日本生化学会近畿支部例会 神戸 (2016/5/21)
沖野希, 田中将史, 高瀬ひろか, 川上徹, 山田俊幸, 向高弘	学会報告	血清アミロイドA(1-76)ペプチドの合成とアミロイド線維形成能評価 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/27)
久土慎詞, 萩森政頼, 近藤直哉, 天満敬, 向高弘	学会報告	MMP-12を標的とする放射性ヨウ素標識化合物の合成 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/27)
橘由香, 田中将史, 川上徹, 岩崎憲治, 向高弘	学会報告	合成高分子を用いたディスク型脂質ナノ粒子の作製と物性評価 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/27)
Hagimori M., Shigemitsu Y., Murakami R., Yokota K., Nishimura Y., Mizuyama N., Wang B.C., Tai C.K., Wang S.L., Shih T.L., Wu K.D., Lu J.W., Huang Z.S., Tseng S.C., Wei H.H., Nagaoka J., Mukai T., Kawashima S., Kawashima K., Tominaga Y	論文	2-Pyridone-based fluorophores containing 4-dialkylamino-phenyl group: Synthesis and fluorescence properties in solutions and in solid state <i>Dyes Pigment.</i> 124 196-202 (2016) 査読有り
Yamamoto Y., Arai J., Hisa T., Saito Y., Mukai T., Ohshima T., Maeda M., Yamamoto F	論文	Isomeric iodinated analogs of nimesulide: synthesis, physicochemical characterization, cyclooxygenase-2 inhibitory activity, and transport across Caco-2 cells <i>Bioorg. Med. Chem.</i> 24(16) 3727-3733 (2016) 査読有り
Nakahara H., Hagimori M., Mukai T., Shibata O	論文	Interactions of a tetrazine derivative with biomembrane constituents: a Langmuir monolayer study <i>Langmuir</i> 32(26) 6591-6599 (2016) 査読有り
Takase H., Tanaka M., Yamamoto A., Watanabe S., Takahashi S., Nadanaka S., Kitagawa H., Yamada T., Mukai T	論文	Structural requirements of glycosaminoglycans for facilitating amyloid fibril formation of human serum amyloid A <i>Amyloid</i> 23(2) 67-75 (2016) 査読有り
Hagimori M., Murakami T., Shimizu K., Nishida M., Ohshima T., Mukai T	論文	Synthesis of radioiodinated probes to evaluate the biodistribution of a potent TRPC3 inhibitor <i>MedChemComm</i> 7(5) 1003-1006 (2016) 査読有り
竹仲 由希子, Duy Hoang Le, 棚橋 孝雄	学会報告	ベトナム産地衣類より単離培養した地衣菌の代謝物の多様性 日本地衣学会第15回大会 岐阜 (2016/7/17)
西村 克己, 源 侑馬, 上久保 静香, 宇佐美 佑希子, 竹仲 由希子, 棚橋 孝雄	学会報告	単離培養地衣菌Graphis sp. NH9933012の産生する新規スピロケタール化合物の合成と立体化学 日本薬学会第136回年会 横浜 (2016/3/28)
神前 祥子, 竹仲 由希子, 高杉 文人, 棚橋 孝雄	学会報告	Garcinia mangostanaの葉部の成分研究 日本薬学会第136回年会 横浜 (2016/3/28)
竹仲 由希子, 岡本 安紀, 廣瀬 浩明, 棚橋 孝雄	学会報告	Fraxinus rhynchophyllaの果実の成分研究 日本薬学会第136回年会 横浜 (2016/3/28)
Duy H. L., Nishimura K., Tanahashi T.	論文	"Alkaloids from the Tuber of Stephania cf. rotunda" <i>Nat. Prod. Communications</i> 11(7) 949-952 (2016) 査読有り
Duy H. L., Nishimura K., Takenaka Y., Mizushima Y., Tanahashi T.	論文	"Polyprenylated Benzoylphloroglucinols with DNA Polymerase Inhibitory Activity from the Fruits of Garcinia schomburgkiana" <i>J. Nat. Prod.</i> 79(7) 1798-1807 (2016) 査読有り

Onodera T., Takenaka Y., Kozaki S., Tanahashi T., and Mizushima Y.	論文	“Screening of Mammalian DNA Polymerase and Topoisomerase Inhibitors from <i>Garcinia mangostana</i> L. and Analysis of Human Cancer Cell Proliferation and Apoptosis” <i>Int. J. Oncol.</i> 48(3) 1145-1154 (2016) 査読有り
Bui L. C. H., Duy H. L., Takenaka Y., Tanahashi T., Kim P. P. N.	論文	“New Phenolic Compounds from the Lichen <i>Parmotrema praesorediosum</i> (Nyl.) Hale Parmeriaceae” <i>Magn. Reson. Chem.</i> 54(1) 81-87 (2016) 査読有り
寺岡 麗子, 中山 みずえ, 豎 ゆりか, 上田 華世, 湯谷 玲子, 沼田 千賀子, 岡本 禎晃, 平野 剛, 富田 猛, 平井 みどり, 北河 修治	論文	1日1回貼り替え型フェンタニルクエン酸塩貼付剤(フェントス®テープ)の薬物残存量に影響を与える要因 日本緩和医療薬学雑誌 9 25-32 (2016) 査読有り
Kitagawa S., Yutani R., Kodani R., Teraoka R.	論文	Differences in the rheological properties and mixing compatibility with heparinoid cream of brand name and generic steroidal ointments; effects of surfactants they contain <i>Results Pharma Sci.</i> 6 7-14 (2016) 査読有り
Yutani R., Komori Y., Takeuchi A., Teraoka R., Kitagawa S.	論文	Prominent efficiency in skin delivery of resveratrol by novel sucrose oleate microemulsion <i>J. Pharm. Pharmacol.</i> 68(1) 46-55 (2016) 査読有り
前田 千晶, 田中 晶子, 武田 康嗣, 高山 健太郎, 井上 大輔, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 林 良雄, 山本 昌	学会報告	鼻腔内投与によるCPN-116(ニューロメジンUアゴニストペプチド)の脳内送達 第22回創剤フォーラム若手研究会 岡山 (2016/11/26)
田中 晶子, 新井 真理, 井上 大輔, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	Oxytocinの鼻腔内投与: 直接移行経路を介した脳内送達の可能性 第22回創剤フォーラム若手研究会 岡山 (2016/11/26)
泉 なな, 山川 祐輝, 井上 大輔, 森山 圭, 田中 晶子, 草森 浩輔, 勝見 英正, 山本 昌, 坂根 稔康, 古林 呂之	学会報告	粉末状製剤の粘膜表面における溶解状態と膜透過の関係 第22回創剤フォーラム若手研究会 岡山 (2016/11/26)
松原 嘉子, 比嘉 海夢, 井上 大輔, 田中 晶子, 草森 浩輔, 勝見 英正, 山本 昌, 坂根 稔康, 古林 呂之	学会報告	経鼻ルートを介した各種薬物の頸部リンパ節移行性評価 第22回創剤フォーラム若手研究会 岡山 (2016/11/26)
木村 峻輔, 荒木 加永子, 榎村 眞一, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	クルクミンのin vivo吸収性に対する非晶質固体粒子の直接的な関与 第22回創剤フォーラム若手研究会 岡山 (2016/11/26)
坂根 稔康	講演	鼻腔内投与による脳への薬物送達 ~背景・現状と問題点~ 第22回創剤フォーラム若手研究会 岡山 (2016/11/26)
Furubayashi T., Inoue D., Tanaka A., Kusamori K., Katsumi H., Yamamoto A., Sakane T.	学会報告	Comparison of some cultured cell lines and the three dimensional mucociliary tissue model system to estimate the drug permeability for nasal absorption study <i>2016 AAPS Annual Meeting and Exposition Denver, USA</i> (2016/11/13-17)
Inoue D., Hirao M., Tanaka A., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A., Furubayashi T.	学会報告	Direct Delivery of Caffeine from Nose to Brain : The Effect of Anesthesia on Caffeine Pharmacokinetics and Brain Distribution <i>2016 AAPS Annual Meeting and Exposition Denver, USA</i> (2016/11/13-17)
井上 大輔, 田中 晶子, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌, 古林 呂之	学会報告	経鼻投与後のカフェイン脳移行特性に及ぼす麻酔状態の影響 第10回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム 前橋 (2016/11/5-6)
鵜飼 裕紀, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	躁うつ病治療薬リチウムの体内動態-脳における分布メカニズムに関する検討- 第66回日本薬学会近畿支部総会・大会 高槻 (2016/10/15)
Inoue D., Hirao M., Tanaka A., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A., Furubayashi T.	学会報告	Direct Drug Delivery from Nose to Brain: The Effect of Anesthesia on Caffeine Pharmacokinetics and Brain Distribution 日本薬物動態学会第33回年会 松本 (2016/10/13-15)
佐藤 麻衣子, 田路 隆了, 田原 花奈子, 湯谷 玲子, 寺岡 麗子, 北河 修治, 坂根 稔康	学会報告	亜鉛華単軟膏のレオロジー特性とアズノール軟膏との混合性 第26回日本医療薬学会年会 京都 (2016/9/17-19)

松尾 理世, 出口 千裕, 寺岡 麗子, 矢倉 裕輝, 湯谷 玲子, 北河 修治, 坂根 稔康	学会報告	ドルテグラビルナトリウム錠の簡易懸濁時の錠剤崩壊性、チューブ通過性および安定性について 第26回日本医療薬学会年会 京都 (2016/9/17-19)
武田 真伊子, 中山 加菜恵, 寺岡 麗子, 湯谷 玲子, 沼田 千賀子, 岡本 禎晃, 大槻 裕朗, 高子 優子, 平井 みどり, 北河 修治, 坂根 稔康	学会報告	フェンタニル3日用テープ剤の先発品と後発品の溶出性、皮膚透過性及び貼付済みテープ剤中のフェンタニル残存率の比較 第26回日本医療薬学会年会 京都 (2016/9/17-19)
清水 和香, 寺岡 麗子, 湯谷 玲子, 北河 修治, 坂根 稔康	学会報告	2-ヒドロキシプロピル- γ -シクロデキストリンとエトキシジグリコールによるケルセチンの経皮吸収性改善 第33回シクロデキストリンシンポジウム 香川 (2016/9/8-9)
田中 晶子, 竹村 友希, 天野 真弓, 前田 千晶, 武田 康嗣, 高山 健太郎, 井上 大輔, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 林 良雄, 山本 昌	学会報告	鼻腔内投与による生理活性ペプチド CPN-116 の脳内送達 第25回DDSカンファランス 静岡 (2016/9/2)
古林 呂之, 比嘉 海夢, 田中 晶子, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌, 井上 大輔	学会報告	薬物の頸部リンパ節送達における経鼻ルートの優位性 第32回日本DDS学会学術集会 静岡 (2016/6/30-7/1)
田中 晶子, 新井 真理, 井上 大輔, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	Oxytocin の鼻腔内投与: 直接移行経路を介した脳内送達の可能性 第32回日本DDS学会学術集会 静岡 (2016/6/30-7/1)
竹村 友希, 田中 晶子, 武田 康嗣, 高山 健太郎, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 林 良雄, 山本 昌	学会報告	鼻腔内投与による生理活性ペプチド CPN-116 の脳内送達 第32回日本DDS学会学術集会 静岡 (2016/6/30-7/1)
Tanaka A., Takemura Y., Taketa K., Takayama K., Hayashi Y., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	学会報告	Transnasal delivery of peptide agonist specific to neuromedin U receptor 2 to the brain for the treatment of obesity <i>The 1st workshop for Japan-Korea Young Scientists on pharmaceuticals</i> Kyoto, Japan (2016/6/24-25)
Tanaka A., Takemura Y., Inoue D., Furubayashi T., Taketa K., Takayama K., Hayashi Y., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	学会報告	Transnasal delivery of peptide agonist specific to neuromedin U receptor 2 to the brain for the treatment of obesity <i>43th Annual Meeting & Exposition of the Controlled Release Society</i> Seattle, USA (2016/6/17-20)
Teraoka R., Miyake M., Okamoto Y., Nakayama M., Numata C., Hirai M., Yutani R., Kitagawa S.	学会報告	Half Dose Administration Using Once-a-Day Fentanyl Patch 12.5 μ g/h with Film Dressings <i>9th World Research Congress of the European Association for Palliative Care</i> Dublin (2016/6/9-11)
三宅 真唯, 湯谷 玲子, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	白色ワセリンの製品間でのレオロジー特性の違いと混合操作の影響 日本薬剤学会第31年会 岐阜 (2016/5/19-21)
猪原 振一, 湯谷 玲子, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	ジフルプレドナート含有軟膏剤の先発品と後発品のレオロジー特性と混合操作の影響 日本薬剤学会第31年会 岐阜 (2016/5/19-21)
堤 夕実, 信野 亜由美, 湯谷 玲子, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	種々の補助界面活性剤を用いたマイクロエマルジョンによるポリフェノールの皮膚デリバリー改善効果の比較 日本薬剤学会第31年会 岐阜 (2016/5/19-21)
浅田 めぐみ, 湯谷 玲子, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	種々の界面活性剤を用いたマイクロエマルジョンによるレスベラトロールの皮膚デリバリー改善 日本薬剤学会第31年会 岐阜 (2016/5/19-21)
宮崎 智子, 安藤 未裕, 寺岡 麗子, 都出 千里, 長瀬 弘昌, 湯谷 玲子, 北河 修治	学会報告	シプロフロキサシンとそのサッカリン塩の光安定性比較 日本薬剤学会第31年会 岐阜 (2016/5/19-21)
古林 呂之, 西山 典子, 田中 晶子, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌, 井上 大輔	学会報告	粉末製剤化医薬品の経鼻吸収性に関する研究—鼻粘膜表面における水分量変化の影響— 日本薬剤学会第31年会 岐阜 (2016/5/19-21)
井上 大輔, 平尾 政洋, 田中 晶子, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌, 古林 呂之	学会報告	覚醒下および麻酔下のラットにおける Caffeine の脳内動態: 脳脊髄液の分泌速度の影響 日本薬剤学会第31年会 岐阜 (2016/5/19-21)
田中 晶子, 竹村 友希, 武田 康嗣, 高山 健太郎, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 林 良雄, 山本 昌	学会報告	鼻腔内投与による生理活性ペプチド CPN-116 の脳内送達 日本薬剤学会第31年会 岐阜 (2016/5/19-21)

濱端 綾太, 松島 由貴, 寺岡 麗子, 湯谷 玲子, 北河 修治	学会報告	フィルムコーティング剤の吸湿特性が錠剤の外観変化に及ぼす影響 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/26-29)
近野 詩乃, 大石 真央, 山本 有紀, 湯谷 玲子, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	ジメチルイソプロピルアズレンを含有する軟膏剤の先発品、後発品のレオロジー特性と混合操作によるその特性の違い 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/26-29)
大石 真央, 近野 詩乃, 西垣 彰人, 湯谷 玲子, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	ステロイド軟膏剤の先発品と後発品とヒルドイドソフト軟膏との混合性—ステロイド軟膏剤に含有される界面活性剤の影響— 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/26-29)
中部 由香莉, 寺岡 麗子, 湯谷 玲子, 北河 修治	学会報告	シクロデキストリン包接化によるケルセチンの皮膚移行性の改善 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/26-29)
新谷 朋子, 笠谷 早千巴, 木村 峻輔, 荒木 加永子, 榎村 眞一, 井上 大輔, 森山 圭, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	Curcumin の細胞層透過性:人工膜を用いた透過メカニズムの検討 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/26-29)
猿渡 瑛仁, 田中 晶子, 井上 大輔, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	腹膜透析時の薬物の体内動態:モデル薬物の体内動態に対する透析液体積の影響 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/26-29)
古林 呂之, 比嘉 海夢, 田中 晶子, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌, 井上 大輔	学会報告	経鼻ルートを介したモデル薬物の頸部リンパ節移行性及びがん転移抑制性 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/26-29)
Tatsumi A., Okada M., Inagaki Y., Inoue S., Hamaguchi T., Iwakawa S.	論文	Differences in Esterase Activity to Aspirin and p-Nitrophenyl Acetate among Human Serum Albumin Preparations. <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 39(8) 1364-1369 doi/10.1248/bpb.b16-00011 (2016) 査読有り
中島 園美	学会報告	コラーゲン療法から見た看護師の内的イメージと情動認知との関連 日本コラーゲン療法学会第8回大会 宇治 (2016年9月18日)
Koyama Y.	著書	<i>New Development of Astrocyte Research: Chapter 1: Pathological roles of astrocytes in brain edema formation as a target of anti-edema drugs</i> L. Estrada Ed. p1-13 (2016)
Aizawa F, Nishinaka T, Yamashita T, Nakamoto K, Koyama Y, Kasuya F, Tokuyama S.	論文	Astrocytes release polyunsaturated fatty acids by lipopolysaccharide stimuli. <i>Biol Pharm Bull.</i> 39 1100-1106 10.1248/bpb.b15-01037. (2016) 査読有り
中島 園美	学会報告	成人アトピー性皮膚炎患者の精神的ストレス反応の予防因子とリスク因子のコーピング探索 日本心理臨床学会第35回秋季大会 横浜 (2016年9月6日)
中島 園美	学会報告	アサーションを導入したコミュニケーション教育プログラムによる認知と行動の変化—医療コミュニケーション力養成のための基盤的コミュニケーション・プログラムの試み— 第1回日本薬学教育学会大会 京都市 (2016年8月28日)
中島 園美、片岡葉子	学会報告	重症アトピー性皮膚炎患者に対する寛解導入兼教育入院の心身学的効果:退院6か月後のコーピングの変化 第57回日本心身医学会総会 仙台市 (2016年6月4日)
井上 大輔, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌, 古林 呂之	学会報告	鼻粘膜吸収評価システムの開発に向けた in vitro - in vivo 相関性評価 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/26-29)
田中 晶子, 堀 智貴, 下村 理奈, 井上 大輔, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	粉末製剤化医薬品の経鼻吸収性に関する研究—鼻粘膜表面における水分量変化の影響— 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/26-29)
Tanaka A., Furubayashi T., Matsushita A., Inoue D., Kimura S., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	論文	Nasal Absorption of Macromolecules from Powder Formulations and Effects of Sodium Carboxymethyl Cellulose on Their Absorption <i>PLoS One</i> 11 e0159150 (2016) 査読有り

Tanaka A., Furubayashi T., Yamasaki H., Takano K., Kawakami M., Kimura S., Inoue D., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	論文	The Enhancement of Nasal Drug Absorption From Powder Formulations by the Addition of Sodium Carboxymethyl Cellulose <i>IEEE Trans. Nanobiosci.</i> 15(8) 798-803 (2016) 査読有り
赤井 朋子	学会報告	1910年代の英国演劇と坪内士行 英米文化学会分科会 東京 (2016/6/25)
河内正二	講演	患者診療情報と有害事象自発報告データベースを用いた再転倒要因の探索 平成28年度 第2回 医療安全全体研修 公立学校共済組合近畿中央病院 (2016/12/15)
Kawauchi S, Nakamura T, Horibe S, Tanahashi T, Mizuno S, Hamaguchi T, Rikitake Y.	論文	Down-regulation of hepatic CYP3A1 expression in a rat model of indomethacin-induced small intestinal ulcers. <i>Biopharm Drug Dispos.</i> 37 522-532 (2016) 査読有り
Kitagawa, H.	講演	Chondroitin 6-sulfation regulates perineuronal net formation and neural plasticity. <i>46th Annual Meeting of the Society of Neuroscience</i> , San Diego (2016/11/12-16)
Kitagawa, H.	講演	Deciphering roles of phosphorylation and sulfation in regulating trafficking and functions of proteoglycans. <i>EMBO workshop on "Glycosylation in the Golgi complex"</i> , Vico Equense (2016/10/23-30)
Kitagawa, H.	講演	Functional analysis of chondroitin sulfate by sugar-remodeling. <i>The 2016 Glycobiology Meeting of China</i> , Nantong (2016/8/5-7)
Kitagawa, H.	講演	Functional analysis of chondroitin sulfate by sugar-remodeling. <i>2016 Annual Symposium of Hubei Province Key Laboratory of Allergy and Immunology</i> , Wuhan (2016/8/3)
北川 裕之	講演	硫酸化糖鎖の生合成機構を操り、細胞機能を制御する-糖鎖モデリングに基づく創薬開発を目指して- 第63回日本生化学会近畿支部例会 神戸 (2016/5/21)
Kitagawa, H.	講演	Chondroitin sulfate in development and differentiation. <i>Glycoscience Japan-The Netherlands Joint Seminar 2016</i> , Leiden (2016/4/19-22)
Kitagawa, H.	講演	Using sugar-remodeling to study chondroitin sulfate function. <i>Glycoforum & MICC-4</i> , Taipei (2016/4/11-13)
Kitagawa, H.	講演	Chondroitin 6-sulfation is relevant to perineuronal net formation and temporal lobe epilepsy. <i>The 3rd International Symposium on Glyco-Neuroscience</i> , Awaji (2016/1/14-16)
灘井 めぐみ, 石野 敦重, 灘中 里美, 北川 裕之	学会報告	硫酸化糖鎖の合成を制御する分子が大脳皮質の制御性神経細胞の数を調節していた 第66回日本薬学会近畿支部大会 大阪 (2016/10/15)
大橋 和佳, 野村 綾香, 加藤 由佳, 宮田 真路, 山本 和樹, 平岡 秀一, 北川 裕之	学会報告	OTX2タンパク質のPV陽性細胞近傍への局在を決定するコンドロイチン硫酸の構造異性体の探索 第66回日本薬学会近畿支部大会 大阪 (2016/10/15)
山田 敦子, 松浦 伸明, 今村 香奈実, 吉川 泰樹, 三上 雅久, 北川 裕之	学会報告	コンドロイチン硫酸鎖の発現量調節による骨格筋分化・再生促進機構の解析 第66回日本薬学会近畿支部大会 大阪 (2016/10/15)
栗津 朋代, 尾ノ井 孝一, 灘中 里美, 北川 裕之	学会報告	心的ストレスによる脳内の硫酸化糖鎖の変化 第66回日本薬学会近畿支部大会 大阪 (2016/10/15)
尾野 貴章, 馬渡 友香, 灘中 里美, 北川 裕之	学会報告	硫酸化糖鎖の生合成に関わる遺伝子の発現を調節する化合物について 第66回日本薬学会近畿支部大会 大阪 (2016/10/15)
三松 舞, 後藤 倫子, 林 剛史, 内藤 裕子, 北川 裕之	学会報告	コンドロイチン硫酸の硫酸化異常が脳神経系に与える影響 第66回日本薬学会近畿支部大会 大阪 (2016/10/15)
灘中 里美, 中村 侑, 森垣 壮史, 山田 英美, 谷口 麻衣, 吉田 秀郎, 北川 裕之	学会報告	神経細胞の分化を調節するコンドロイチン硫酸の動的な生合成制御機構 第89回日本生化学会大会 仙台 (2016/9/25-27)

灘中 里美, 石野 敦重, 尾ノ井 孝一, 灘井 めぐみ, 粟津 朋代, 北川 裕之	学会報告	ヘパラン硫酸の合成異常が神経発生と行動に与える影響についての解析 第35回日本糖質学会年会 高知 (2016/9/1-3)
Takematsu, H., Kitagawa, H., Kannagi, R., Oka, S.	学会報告	Identification of modifier genes that modulate cell surface P-selectin ligand expression. <i>XXV^{III} International Carbohydrate Symposium, New Orleans</i> (2016/7/17-21)
木内 啓貴, 有本 博一, 西口 賢三, 松山 恵吾, 岡 雅子, 卷 秀樹, 北川 裕之, 上 森 浩	学会報告	表面プラズモン共鳴法を用いた薬剤の薬効メカニズムの解明及び毒性予測評価に関する研究 第63回日本生化学会近畿支部例会 神戸 (2016/5/21)
平岡 秀一, 杉野 太亮, 三上 知佳, 西山 美紀, 古関 明彦, 北川 裕之	学会報告	糖ヌクレオチド輸送体Slc35d1は腸管ホメオスタシスに必要である 第63回日本生化学会近畿支部例会 神戸 (2016/5/21)
大橋 和佳, 野村 綾香, 加藤 由佳, 宮田 真路, 山本 和樹, 平岡 秀一, 北川 裕之	学会報告	OTX2蛋白質のPV陽性細胞近傍への局在を決定するコンドロイチン硫酸の構造は何か? 第63回日本生化学会近畿支部例会 神戸 (2016/5/21)
山田 敦子, 松浦 伸明, 今村 香奈実, 吉川 泰樹, 三上 雅久, 北川 裕之	学会報告	コンドロイチン硫酸鎖の発現量調節を介した骨格筋分化促進メカニズムの解析 第63回日本生化学会近畿支部例会 神戸 (2016/5/21)
志田 美春, 三上 雅久, 北川 裕之	学会報告	高硫酸化コンドロイチン硫酸による神経細胞の極性形成制御機構の解析 第63回日本生化学会近畿支部例会 神戸 (2016/5/21)
Miyata, S., Sato, Chihiro, Kitajima, K., and Kitagawa, H.	学会報告	Neurocan, a brain chondroitin sulfate proteoglycan, regulates neuronal migration and morphogenesis during corticogenesis. <i>The 3rd International Symposium on Glyco-Neuroscience, Awaji</i> (2016/1/14-16)
Nakamura, M., Tamura, J., Kitagawa, H., Tojima, T., and Kamiguchi, H.	学会報告	Identification of receptors for chondroitin sulfate-E-mediated bidirectional axon guidance. <i>The 3rd International Symposium on Glyco-Neuroscience, Awaji</i> (2016/1/14-16)
Nadanaka, S., Ikeda, A., Ishino, A., Onoi, K., and Kitagawa, H.	学会報告	Dysregulated GAG Biosynthesis Affects Inhibitory Interneuron Proliferation During Neural Development and Causes Behavioral Disorders. <i>The 3rd International Symposium on Glyco-Neuroscience, Awaji</i> (2016/1/14-16)
Mikami, T., Shida, M., and Kitagawa, H.	学会報告	Distinct roles of highly sulfated chondroitin sulfates in neural polarity formation. <i>The 3rd International Symposium on Glyco-Neuroscience, Awaji</i> (2016/1/14-16)
Sorg, B. A., Berretta, S., Blacktop, J. M., Fawcett, J. W., Kitagawa, H. Kwok, J. C. F., and Miquel, M.	総説	Casting a wide net: role of perineuronal nets in neural plasticity. <i>J. Neurosci.</i> 36(45) 11459-11468 doi/10.1523/JNEUROSCI.2351-16.2016 (2016) 査読有り
Miyata, S., and Kitagawa, H.	総説	Chondroitin sulfate and neuronal disorders. <i>Front. Biosci.</i> 21(7) 1330-1340 dx.doi.org/10.2741/4460 (2016) 査読有り
Nadanaka, S., Kinouchi, H., Kitagawa, H.	論文	Histone Deacetylase-mediated Regulation of Chondroitin 4-O-sulfotransferase-1 (Chst11) Gene Expression by Wnt/ β -catenin Signaling. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 480 234-240 doi:10.1016/j.bbrc.2016.10.035 (2016) 査読有り
Izumikawa, T., Dejima, K., Watamoto, Y., Nomura, K. H., Kanai, N., Rikitake, M., Tou, M., Murata, D., Yanagita, E., Kano, A., Mitani, S., Nomura, K., and Kitagawa, H.	論文	Chondroitin 4-O-sulfotransferase is indispensable for sulfation of chondroitin and plays an important role in maintaining normal life span and oxidative stress responses in nematodes. <i>J. Biol. Chem.</i> 291 (44) 23294-23304 doi:10.1074/jbc.M116.757328 (2016) 査読有り

Saigoh, K., Yoshimura, S., Izumikawa, T., Miyata, S., Tabara, Y., Matsushita, T., Miki, T., Miyamoto, K., Hirano, M., Kitagawa, H., Kita, J., and Kusunoki, S.	論文	Chondroitin sulfate β -1,4-N-acetylgalactosaminyltransferase-1 (ChGn-1) polymorphism; association with progression of multiple sclerosis. <i>Neurosci. Res.</i> 108 55-59 doi/10.1016/j.neures.2016.01.002 (2016) 査読有り
増田 有紀, 中山 喜明, 伊藤 信行, 小西 守周	学会報告	胸腺におけるFgf21の役割 第39回日本分子生物学会年会 横浜 (2016/11/30)
中山 喜明, 増田 有紀, 伊藤 信行, 小西 守周	学会報告	FGF21は胸腺細胞の成熟化を促進する 第63回生化学会近畿支部会 神戸 (2016/5/21)
藤岡 広大, 松家 京介, 伊藤 信行, 中山 喜明, 小西 守周	学会報告	不飽和脂肪酸負荷により誘導されるFgf21の脂質代謝調節機構の解析 第63回生化学会近畿支部会 神戸 (2016/5/21)
Itoh N., Nakayama Y., Konishi M.	総説	Roles of FGFs As Paracrine or Endocrine Signals in Liver Development, Health, and Disease <i>Front. Cell Dev. Biol.</i> 4 30 doi:10.3389/fcell.2016.00030 (2016) 査読有り
小西 守周, 中山 喜明, 増田 有紀	総説	細胞外分泌因子FGF21による生体機能調節 生化学 88(1) 86-93 doi:10.14952/SIKAGAKU.2016.880086 (2016) 査読有り
小堀 愛夏, 田中 章太, 細川 美香, 上田 久美子, 岩川 精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株 SW620 細胞及びそのオキサリプラチン耐性細胞の浸潤能に及ぼすmicroRNA let-7b の影響 第66回 日本薬学会近畿支部総会・大会 大阪 (2016/10/15)
高津 汐李, 細川 美香, 上田 久美子, 岩川 精吾	学会報告	大腸がん細胞におけるデシタビンに対する獲得耐性と自然耐性の機構の比較 第66回 日本薬学会近畿支部総会・大会 大阪 (2016/10/15)
杉木 紗代, 山口 真実, 茶村 流衣, 細川 美香, 田中 章太, 上田 久美子, 岩川 精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株 HCT116 細胞における細胞増殖および乳酸産生に及ぼすニトロベンジルチオイノシンの影響 第66回 日本薬学会近畿支部総会・大会 大阪 (2016/10/15)
榎本 彩花, 福田 美沙希, 細川 美香, 田中 章太, 上田 久美子, 岩川 精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株 HCT116 細胞におけるウリジン、デシタビンの細胞内取り込みに及ぼすキナーゼ阻害薬の影響 第26回 日本医療薬学会年会 京都 (2016/9/18)
高田 容希, 細川 美香, 上田 久美子, 岩川 精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞の細胞内活性酸素レベルに及ぼすデシタビンと抗がん薬併用の影響 日本薬剤学会 第31年会 岐阜 (2016/5/21)
増本 憲生, 田中 絵美, 細見 健悟, 杉田 裕貴, 小牧 佐知子, 稲田 智子, 高子 優子, 稲田 慎也, 上田 晋一郎, 亀山 智子, 中村 裕子, 大槻 裕朗, 岩川 精吾, 古賀 正史	学会報告	糖尿病薬中止で血糖コントロールが悪化をきたす要因に関する検討 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 京都 (2016/5/19)
稲田 琴美, 小堀 愛夏, 田中 章太, 細川 美香, 上田 久美子, 岩川 精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株 SW620 細胞におけるオキサリプラチン耐性とシスプラチン耐性 日本薬学会 第136年会 横浜 (2016/3/27)
中村 浩紀, 細川 美香, 上田 久美子, 岩川 精吾	学会報告	HPLC-UV 法による deoxycytidine kinase (dCK) 活性及び cytidine deaminase (CDA) 活性の同時定量法の検討 日本薬学会 第136年会 横浜 (2016/3/27)
柘田 文沙, 上田 久美子, 細川 美香, 岩川 精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株 HCT116 細胞における抗がん剤共存下でのデシタビンの細胞内取り込みに及ぼすdCK、ENT1の影響 日本薬学会 第136年会 横浜 (2016/3/27)
沼田 千賀子	講演	がんサバイバーから見たがん患者が望むコミュニケーションとは がん治療における患者支援のためのSP参加型ワークショップ 東京 (2016/9/3)
沼田 千賀子	講演	がん患者の立場から、薬剤師教育を考える 大阪薬科大学 第10回がんプロシンプोजウム 大阪 (2016/2/14)

沼田 千賀子	講演	神戸薬科大学における「がん哲学学校 メディカル・カフェ」の取り組みと参加者および学生の意識変化について がんプロ連携7大学合同研修会 大阪（2016/10/23）
沼田 千賀子	講演	薬学部における薬害教育の取り組み レギュラトリーサイエンス薬害教育エキスパート研修会 東京（2016/11/28）
横山 郁子, 沼田 千賀子	学会報告	がん哲学外来メディカル・カフェ参加による本学学生のがん患者に対する意識変化 第26回日本医療薬学会 京都（2016/9/18）
村田 明子, 中尾 幸代, 松田 裕子, 南 恵理子, 山中 智香, 波多江 崇, 沼田 千賀子	学会報告	「実務実習事前学習」に参加する薬剤師の役割とは（第5報）～長期実務実習への効果の検証～ 第26回日本医療薬学会 京都（2016/9/18）
山中 ひな子, 横山 郁子, 沼田 千賀子, 難波 佳美, 森脇 健介, 安藤 潔, 樋野 興夫	学会報告	がんサポートグループの指導者養成に関する調査～がん哲学外来コーディネーター養成講座より～ 第14回日本臨床腫瘍学会学術大会 神戸（2016/7/29）
難波 佳美, 横山 郁子, 沼田 千賀子, 山中 ひな子, 森脇 健介, 安藤 潔, 樋野 興夫	学会報告	がん患者が望む対話とは—がん哲学外来メディカル・カフェより— 第14回日本臨床腫瘍学会学術大会 神戸（2016/7/29）
田中 育子, 岡本 禎晃, 山中 ひな子, 沼田 千賀子, 中嶋真一郎, 西本 哲郎, 西浦 哲雄	学会報告	終末期がん患者におけるコルチコステロイドの使用目的と効果・副作用の調査研究 第10回緩和医療薬学会 浜松（2016/6/4）
Numata C., Yamane M., Teraoka R., Okamoto Y., Yokoyama I., Yutani R., Kitagawa S.,	学会報告	Adhesion Levels of Fentanyl Transdermal Products 9th World Research Congress of the European Association for Palliative Care Dublin（2016/6/9-11）
福田 慎一, 大鹿 哲郎, 永澤 秀子, 奥田 健介	特許	低酸素関連眼疾患のインビボ用診断薬及び治療用組成物 特開2016-069330（2016）
小池 晃太, 服部 幸三, 平山 祐, 奥田 健介, 永澤 秀子	学会報告	Triostin Aの新規類縁体合成と生物活性評価 第34回メディシナルケミストリーシンポジウム つくば（2016/11/30-12/2）
奥田 健介, 豊福 優太, 土井 和彦, 木原 稔文, 小佐見 実希, 平山 祐, 永澤 秀子	学会報告	Truce-Smiles転位を活用した三環性PARP阻害剤の創製 第34回メディシナルケミストリーシンポジウム つくば（2016/11/30-12/2）
丹羽 正人, 平山 祐, 奥田 健介, 永澤 秀子	学会報告	細胞内鉄(II)イオン濃度の変動を検出できる蛍光プローブの開発 第14回がんとハイポキシア研究会 岐阜（2016/11/4-5）
小池 晃太, 服部 幸三, 平山 祐, 奥田 健介, 永澤 秀子	学会報告	Triostin Aの新規類縁体合成と生物活性評価 第14回がんとハイポキシア研究会 岐阜（2016/11/4-5）
境 崇行, 平山 祐, 奥田 健介, 永澤 秀子	学会報告	ビグアニド系がん微小環境モジュレーター的作用機序解明を目指す創薬化学研究 第14回がんとハイポキシア研究会 岐阜（2016/11/4-5）
Hirayama T., Niwa M., Kadota S., Miki A., Okuda K., Nagasawa H.	学会報告	Molecular imaging of iron metabolism during ferroptosis with a novel mitochondria-targeting fluorescent probe World Molecular Imaging Congress 2016 New York（2016/9/7-10）
小池 晃太, 平山 祐, 奥田 健介, 永澤 秀子	学会報告	トリオスチンA及び誘導体の合成と生理活性評価 第75回日本癌学会学術総会 横浜（2016/10/6-8）
永澤 秀子, 磯野 蒼, 平山 祐, 奥田 健介, 増永 慎一郎	学会報告	ペプチン送達システムを基盤とする膜透過性ホウ素キャリアの開発 第54回日本放射線腫瘍学会生物部会学術大会 大阪（2016/7/16）
奥田 健介	講演	がんのストレス応答系に関するケミカルバイオロジー研究 第22回癌治療増感研究会 那覇（2016/7/2）
丹羽 正人, 平山 祐, 奥田 健介, 永澤 秀子	学会報告	細胞膜上に局在する鉄(II)イオン検出蛍光プローブの開発 日本ケミカルバイオロジー学会 京都（2016/6/15-17）
平山 祐, 奥田 健介, 永澤 秀子	学会報告	ミトコンドリア局在型二価鉄蛍光プローブを使った鉄依存的細胞死の解析 第20回日本がん分子標的治療学会学術集会 別府（2016/5/30-6/1）
大橋 憲太郎, 境 崇行, 奥田 健介, 永澤 秀子	学会報告	ヒト結腸癌細胞HT29におけるグルコース欠乏性ストレス応答に対する新規フェンフォルミン誘導体の効果に関する研究 第20回日本がん分子標的治療学会学術集会 別府（2016/5/30-6/1）

Oh-hashii K., Irie N., Sakai T., Okuda K., Nagasawa H., Hirata Y., Kiuchi K.	論文	Elucidation of a novel phenformin derivative on glucose-deprived stress responses in HT-29 cells <i>Mol. Cell Biochem.</i> 419(1) 29-40 doi: 10.1007/s11010-016-2747-5 (2016) 査読有り
Fukuda S., Okuda K., Kishino G., Hoshi S., Kawano I., Fukuda M., Yamashita T., Beheregaray S., Nagano M., Ohneda O., Nagasawa H., Oshika T.	論文	In vivo Retinal and Choroidal Hypoxia Imaging Using a Novel Activatable Hypoxia-Selective Near-Infrared Fluorescent Probe <i>Graefes Arch. Clin. Exp. Ophthalmol.</i> 254(12) 2373-2385 doi:10.1007/s00417-016-3476-x (2016) 査読有り
畑 公也	論文	「環境音楽」、または「環境」と「音楽」神戸薬科大学研究論集LIBRA 16 16-32 (2016) 査読無し
Miyata, S., and Kitagawa, H.	論文	Chondroitin 6-sulfation regulates perineuronal net formation by controlling the stability of aggrecan. <i>Neural Plast.</i> 2016, 1305801, 13 pages. doi.org/10.1155/2016/1305801 (2016) 査読有り
Kinouchi, H., Matsuyama, K., Kitagawa, H., and Kamimori, H.	論文	Surface Plasmon Resonance Assay of Inhibition by Pharmaceuticals for Thyroxine Hormone Binding to Transport Proteins. <i>Anal. Biochem.</i> 492 43-48 doi.org/10.1016/j.ab.2015.09.004 (2016) 査読有り
中山 尋量	講演	層状化合物を利用した環境汚染物質の除去ー層状リン酸ジルコニウムを中心にー 第2回桜花城北セミナー 大阪 (2016/12/13)
林 亜紀	講演	無機層状リン酸塩のナノ層空間を利用した環境汚染物質の除去 2016年度:第2回「次世代バイオマテリアル」を考える会 横浜 (2016/9/28)
中山 尋量	講演	層状復水化合物の医薬、環境材料への展開 2016年度:第2回「次世代バイオマテリアル」を考える会 横浜 (2016/9/28)
Maeda H., Katsushiro M., Nariai H., Nakayama H.	学会報告	Phosphorylation of arbutin with cyclo-triphosphate in aqueous solution <i>The 9th International Symposium on Inorganic Phosphate Materials (ISIPM9)</i> Hachioji (2016/9/26)
Hayashi A., Tanaka S., Yoshida M., Inohara C., Tsushima M., Yano M., Nakayama H.	学会報告	The intercalation of amroxol hydrochloride and p-amino benzoic acid into layered zirconium phosphate <i>The 9th International Symposium on Inorganic Phosphate Materials (ISIPM9)</i> Hachioji (2016/9/26)
林 亜紀, 對馬 美子, 矢野 真帆, 中山 尋量	学会報告	層状復水酸化物によるグリチルリチン酸の保湿作用の向上 第60回粘土科学討論会 博多 (2016/9/16)
前田 秀子, 伊賀柚紀子, 中山 尋量	学会報告	シクロデキストリンによるベタヒスチンメシル酸塩の吸湿性の改善 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/27)
林 亜紀, 池上 沙紀, 英保 有里, 松嶋 紗由記, 中山 尋量	学会報告	ヒドロタルサイト様化合物とケトプロフェンの複合体形成 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/27)
中山 尋量他 編集	著書	「物理系薬学2 Ⅲ機器分析・構造決定」日本薬学会編 (東京化学同人) (2016)
中山 尋量他 編集	著書	「物理系薬学2 Ⅱ化学物質の分析」日本薬学会編 (東京化学同人) (2016)
中山 尋量他 編集、共著	著書	薬学生のための基礎物理(廣川書店) (2016)
中山 尋量、林 亜紀	総説	合成ヒドロタルサイトを利用した吸湿性・苦味抑制効果 PHARMA TECH JAPAN 32(4) 701-706 (2016) 査読有り
Nakayama H., Hayashi A.	論文	Protection of deliquescence of sodium valproate by hydrotalcite using different synthetic routes <i>Journal of Pharmaceutical Microbiology</i> 2(2) 10 0001-0004 (2016) 査読有り

Maeda H., Moriwaki A., Nariai H., Nakayama H.	論文	Two sites phosphorylation of salicin with disodium diphosphonate in aqueous solution <i>Phosphorus Res. Bull.</i> 32 0005-0009 (2016) 査読有り
Maeda H., Iga Y., Nakayama H.	論文	Characterization of inclusion complexes of betahistine with beta-cyclodextrin and evaluation of their anti-humidity properties <i>J Inclusion Phenom. Macrocycl. Chem.</i> 86 337-342 10.1007/s10847-016-0658-4 (2016) 査読有り
Shiho Mikawa, Chiharu Mizuguchi, Izumi Morita, Hioryuki Oyama, Teruhiko Baba, Akira Shigenaga, Toshinori Shimanouchi, Norihiro Kobayashi, Akira Otaka, Kenichi Akaji, Hiroyuki Saito	学会報告	Effect of Heparin on Amyloid Fibril Formation of ApoA-I Fragment Peptides 第53回ペプチド討論会 京都 (2016/10/26)
森田いずみ、黒田裕美、伊藤綾、池田夏美、小山千尋、大山浩之、小林典裕	学会報告	オンサイト免疫測定法を目的としたTeoc化覚せいアミンに対するモノクローナル抗体の新規調製 日本分析化学会第65年会 札幌 (2016/9/15)
大山浩之、森田いずみ、松田和久、伊藤綾、小林典裕	学会報告	大麻成分の検出を目的とする抗Δ9-テトラヒドロカンナビノールscFvの試験管内親和性成熟 日本分析化学会第65年会 札幌 (2016/9/15)
Nakajima H., Nishitsuji K., Kawashima H., Kuwabara K., Mikawa S., Uchimura K., Akaji K., Kashiwada Y., Kobayashi N., Saito H., Sakashita N.	論文	The polyphenol (-)-epigallocatechin-3-gallate prevents apoA-IIowa amyloidosis in vitro and protects human embryonic kidney 293 cells against amyloid cytotoxicity <i>Amyloid</i> 23(6) 17-25 10.3109/13506129.2015.1113167 (2016) 査読有り
Kameyama H., Nakajima H., Nishitsuji K., Mikawa S., Uchimura K., Kobayashi N., Okuhira K., Saito H., Sakashita N.	論文	Iowa mutant Apolipoprotein A-I (ApoA-IIowa) fibrils target lysosomes <i>Sci. Rep</i> 6 30391-30402 10.1038/srep30391 (2016) 査読有り
Fukuda H, Moriwaki K	学会報告	SHOULD THE GOVERNMENT INTERVENE IN THE IMPLEMENTATION ON SAFETY-ENGINEERED DEVICES? EVIDENCE FROM A COST-EFFECTIVENESS ANALYSIS OF NEEDLESTICK INJURIES <i>ISPOR 21st Annual International Meeting</i> Washington DC, USA (2016/5/21-25)
Fukuda T, Igarashi A, Ishida H, Ikeda S, Saito S, Sakamaki H, Shimozuma K, Shiroiwa T, Takura T, Tomita N, Noto S, Fukuda H, Moriwaki K, Moriyama Y, Akazawa M	学会報告	ECONOMIC EVALUATION GUIDELINE FOR PHARMACEUTICALS AND MEDICAL DEVICES IN JAPAN <i>ISPOR 7th Asia-Pacific Conference</i> Singapore (2016/9/3-6)
Takegami M, Moriwaki K, Nishimura K, Miyamoto Y	学会報告	COST-EFFECTIVENESS OF SCREENING FOR SEVERE SLEEP-DISORDERED BREATHING IN JAPAN <i>ISPOR 19th Annual European Congress</i> Vienna, Austria (2016/10/29-11/2)
Moriwaki K, Mouri M, Hagino H	学会報告	COST-EFFECTIVENESS ANALYSIS OF ONCE-YEARLY INJECTION OF ZOLEDRONIC ACID FOR THE TREATMENT OF OSTEOPOROSIS IN JAPAN <i>ISPOR 19th Annual European Congress</i> Vienna, Austria (2016/10/29-11/2)
森脇 健介	講演	骨粗鬆症診療における多職種連携と医療経済評価ー骨折リエゾンサービスの費用効果分析ー多職種による包括的な転倒、骨折・骨粗鬆症、サルコペニア予防に関するシンポジウム 東京 (2016/10/23)
森脇 健介	講演	医薬品の医療経済評価の基礎. シンポジウム13抗癌剤の医療経済評価ー医療現場や社会への応用ー医療薬学フォーラム2016 滋賀 (2016/6/26)
森脇 健介, 毛利 光子, 萩野 浩	学会報告	日本における閉経後骨粗鬆症に対するゾレドロン酸年1回静脈投与の費用対効果 第18回 日本骨粗鬆症学会 仙台 (2016/9/6-8)
森脇 健介	解説	医療経済からみた骨粗鬆症治療 <i>medicina</i> 53(3) 430-433 (2016) 査読無し
森脇 健介	総説	骨折予防介入の費用対効果 日本整形外科学会雑誌 90 205-210 (2016) 査読無し

森脇 健介	著書	骨粗鬆症治療薬クリニカルクエスチョン100 167-168 (2016)
Fukuda H, Moriwaki K.	論文	Cost-effectiveness analysis of safety-engineered devices. <i>Infection Control & Hospital Epidemiology</i> 37(9) 1012-21. (2016) 査読有り
小山淳子, 児玉典子	学会報告	神戸薬科大学における入口(入学後)と中間点(CBT)における学生の成績の相関性について 第1回 日本薬学教育学会 京都 (2016/9/28)
児玉典子, 小山淳子	学会報告	神戸薬科大学における知識構成型ジグソー法を用いた協調学習の実践と課題 —ジグソー法の成果と学習意欲・授業評価の関連性を考察する— 第1回 日本薬学教育学会 京都 (2016/9/28)
児玉典子, 田中将史, 辰見明俊, 水谷 暢明, 藤波綾, 細川美香, 小山淳子, Hogue, William R., 竹内敦子	論文	チーム基盤型学習(TBL)法と学生の学習動機に及ぼす影響 <i>Libra</i> 16 1-15 (2016) 査読無し
児玉典子, 小山淳子	総説	初年次教育における統合教科の学習を促進するファクターとしてのジグソー法の試み <i>YAKUGAKUZASSHI</i> 3 381-388 (2016) 査読有り
寶田徹, 吉野健一, 松尾雅文, 竹内敦子	学会報告	エクソン認識を制御する RNA 結合蛋白質解析法の構築と遺伝性疾患治療薬開発への応用 第66回 日本薬学会近畿支部総会・大会 高槻 (2016/10/15)
Takeuchi A, Takarada T, Urade Y, Matsuo M	学会報告	Clinical evaluation of prostaglandin D2 and E2 metabolites in urine <i>21st International Mass Spectrometry Conference Toronto</i> (2016/8/24-25)
Takarada T, Takeuchi A, Matsuo M, Yoshino K	学会報告	New strategy for analysis of the splicing regulatory factors using high-resolution mass spectrometry Part 2 <i>21st International Mass Spectrometry Conference Toronto</i> (2016/8/24-25)
都出 千里、竹内 敦子	学会報告	レチノイン酸結晶多形の固体NMR解析-その2- 第30回カロテノイド研究談話会 沖縄 (2016/6/25)
櫛谷晃帆, 上田修司, 加藤良毅, 桐村悠佑, 石政碧, 吉野健一, 竹内敦子, 山之上稔, 白井康仁	学会報告	筋肉の増加減退に関わるRhoAの機能解析と相互作用分子の探索 第63回日本生化学会近畿支部例会 神戸 (2016/5/21)
寶田徹, 吉野健一, 松尾雅文, 竹内敦子	学会報告	質量分析法を用いたスプライシング制御機構解明へのアプローチ 第64回質量分析総合討論会 吹田 (2016/5/18)
畑田莉菜, 寶田徹, 有竹浩介, 裏出良博, 松尾雅文, 竹内敦子	学会報告	尿中プロスタグランジン代謝物の安定性評価 第64回質量分析総合討論会 吹田 (2016/5/18)
Harahap N.I., Nurputra D. K., Rochmah M.A., Shima A., Morisada N., Takarada T., Takeuchi A., Tohyama Y. Yanagisawa S., Nishio H.	学会報告	Salbutamol inhibits ubiquitin-mediated survival motor neuron protein degradation in spinal muscular atrophy <i>13th International Congress of Human Genetics Kyoto</i> (2016/4/7)
竹内 敦子, 加藤 望, 寶田 徹, 三枝 美緒, 堀江 征司, 西尾 久英	学会報告	HeLa細胞中の SMNタンパク質の定量 日本薬学会136年会 横浜 (2016/3/29)
寶田 徹, 吉野 健一, 松尾 雅文, 竹内 敦子	学会報告	質量分析法を利用した RNA 結合蛋白質の解析 日本薬学会136年会 横浜 (2016/3/29)
Nishida A, Yasuno S, Takeuchi A, Awano H, Lee T, Niba ETE, Fujimoto T, Itoh K, Takeshima Y, Nishio H, Matsuo M	論文	HEK293 cells express dystrophin Dp71 with nucleus-specific localization of Dp71ab. <i>Histochem Cell Biol.</i> 146(3) 301-309 (2016) 査読有り
Nishida A, Oda A, Takeuchi A, Lee T, Awano H, Hashimoto N, Takeshima Y, Matsuo M	論文	Staurosporine allows dystrophin expression by skipping of nonsense-encoding exon <i>Brain Dev.</i> 38(8) 738-745 (2016) 査読有り
武田紀彦, 近藤隆瑛, 犬飼真子, 上田昌史, 宮田興子	学会報告	「N-アルコキシエナミドの位置選択的[3,3]-シグマトロピー転位反応の開発」第42回反応と合成の進歩シンポジウム 静岡 (2016/11/7)
西田唯香, 武田紀彦, 宮田興子, 上田昌史	学会報告	「クロロホルムをカルボニル炭素源とするアミノカルボニル化反応の開発」第42回反応と合成の進歩シンポジウム 静岡 (2016/11/7)
野久保名菜恵, 伊藤勇太, 武田紀彦, 宮田興子, 上田昌史	学会報告	「共役ヒドラゾンの求核性を利用したピラゾール環構築法の開発」第66回日本薬学会近畿支部総会・大会 高槻 (2016/10/15)

楠本祥子、武田紀彦、宮田興子、上田昌史	学会報告	「オキシムエーテルの特性を利用した触媒的C-H酸化反応の開発」第66回日本薬学会近畿支部総会・大会 高槻（2016/10/15）
松田有加、武田紀彦、松野研司、宮田興子、上田昌史	学会報告	「ラジカル付加-脱離反応を用いるオキサロ酢酸誘導体の合成」第66回日本薬学会近畿支部総会・大会 高槻（2016/10/15）
武田紀彦、近藤隆瑛、犬飼真子、上田昌史、宮田興子	学会報告	「エナミドの新規転位反応の開発」第66回日本薬学会近畿支部総会・大会 高槻（2016/10/15）
土井信佳、武田紀彦、宮田興子、上田昌史	学会報告	「シクロプロペン類の亜硝酸エステルによるニトロ化反応の開発」第66回日本薬学会近畿支部総会・大会 高槻（2016/10/15）
杉田翔一、武田紀彦、宮田興子、上田昌史	学会報告	「N-アルコキシプロピルアミド類の閉環反応を基盤とするイソキサゾール合成」第46回複素環化学討論会 金沢（2016/9/26）
武田紀彦、森尻沙、宇埜由望奈、下田愛美、上田昌史、宮田興子	学会報告	「BODIPY骨格を有する新規チオール選択的蛍光ラベル化剤の開発研究」第36回有機合成若手セミナー 京都（2016/8/6）
二木恵里佳、武田紀彦、上田昌史、宮田興子	学会報告	「アミド類の α 位への求核的置換基導入法の開発」第36回有機合成若手セミナー 京都（2016/8/6）
西田唯香、武田紀彦、松野研司、宮田興子、上田昌史	学会報告	「クロロホルムをホスゲン等価体として用いるラクタム化およびカルバモイル化反応の開発」第36回有機合成若手セミナー 京都（2016/8/6）
杉田翔一、上田昌史、武田紀彦、宮田興子	学会報告	「O-アリルヒドロキサメートの金触媒を用いた連続的閉環-転位反応による3-ヒドロキシイソキサゾール合成」第9回六甲有機合成研究会 神戸（2016/8/6）
土井信佳、上田昌史、武田紀彦、宮田興子	学会報告	「シクロプロペンの亜硝酸エステル類によるニトロ化反応」第9回六甲有機合成研究会 神戸（2016/8/6）
Sugita S., Ueda M., Takeda N., Miyata O.	学会報告	“Gold-catalyzed cyclization-rearrangement reaction for the synthesis of 3-hydroxyisoxazoles” <i>17th Tetrahedron Symposium</i> Sitges（2016/6/30）
Takeda N., Sato S., Miyoshi T., Ueda M., Miyata O.	学会報告	“Vicinal functionalization of N-alkoxyenamines by double nucleophilic reaction” <i>17th Tetrahedron Symposium</i> Sitges（2016/6/30）
Ueda M., Sugita S., Takeda N., Miyata O.	学会報告	“Gold-catalyzed sequential [3+2]/retro-[3+2] cycloadditions cascade of N-alkoxyazomethine ylide” <i>17th Tetrahedron Symposium</i> Sitges（2016/6/30）
上田昌史、伊藤勇太、杉田翔一、武田紀彦、宮田興子	学会報告	「医薬品創製を指向した新規ヘテロ環化合物群の合成」日本薬学会近畿支部例会 神戸（2016/5/21）
武田紀彦、里章平、上田昌史、宮田興子	学会報告	「エナミドの[3,3]-シグマトロピー転位/求核的アリール化反応」日本薬学会第136年会 横浜（2016/3/29）
杉田翔一、上田昌史、武田紀彦、宮田興子	学会報告	「3-ヒドロキシイソキサゾール誘導体の新規合成法の開発」日本薬学会第136年会 横浜（2016/3/29）
武田紀彦、Tapas GHOSH、大田裕介、上田昌史、宮田興子	学会報告	「[3,3]-シグマトロピー転位を利用した4級炭素を有するジヒドロピロール類の合成」日本薬学会第136年会 横浜（2016/3/28）
Doi N., Takeda N., Miyata O., Ueda M.	論文	“Regiodivergent Ring-Opening Reaction of Trichloromethylcyclopropane Carboxylates” <i>J. Org. Chem.</i> 81 7855-7861（2016）査読有り
Nandi R. K., Takeda N., Ueda M., Miyata O.	論文	“Nucleophilic β -alkenylation of N-alkoxyenamines: an umpolung strategy for the preparation of β , γ -unsaturated ketones” <i>Tetrahedron Lett.</i> 57 2269-2272（2016）査読有り
Sugita S., Ueda M., Doi N., Takeda N., Miyata O.	論文	“Gold-catalyzed sequential cyclization/rearrangement reaction of O-allyl hydroxamates: Atom economical synthesis of 3-hydroxyisoxazoles” <i>Tetrahedron Lett.</i> 57 1786-1789（2016）査読有り

Sato S., Takeda N., Ueda M., Miyata O.	論文	“Sequential [3,3]-Sigmatropic Rearrangement/Nucleophilic Arylation of N-(Benzoyloxy) enamides towards the Preparation of Cyclic β -Aryl- β -amino Alcohols” <i>Synthesis</i> 48 882-892 (2016) 査読有り
Nishida Y., Ueda M., Hayashi M., Takeda N., Miyata O.	論文	“Dimethylzinc-Mediated Chlorolactamization of Homoallylic Amines with Chloroform” <i>Eur. J. Org. Chem.</i> 22-25 (2016) 査読有り
Ito Y., Ueda M., Takeda N., Miyata O.	論文	“tert-Butyl Iodide-Mediated Reductive Fischer Indolization of Conjugated Hydrazones” <i>Chem. Eur. J.</i> 22 2616-2619 (2016) 査読有り
中原諒子、堀部紗世、平沼朋子、和田諭可子、河内正二、棚橋俊仁、力武良行	学会報告	CDDP耐性度に応じたがん幹細胞マーカー遺伝子の発現変化 日本薬学会第136年会 横浜市 (2016/3/26)
藤田英伸、佐藤淳哉、堀部紗世、南智美、平田健一、力武良行	学会報告	ラミニンによるアストロサイト突起形成の促進 第39回日本分子生物学会年会 横浜市 (2016/11/30-12/2)
Rikitake Y., Tagashira T., Hirata K.	学会報告	Inactivation of ROCK by Afadin through ArhGAP29 Facilitates VEGF-induced Network Formation and Migration of Cultured Vascular Endothelial Cells <i>IVBM2016. The 19th International Vascular Biology Meeting</i> , Boston, USA (2016/10/30-11/3)
Tagashira T., Nakamura K., Horibe S., Fujita H., Hirata K., Rikitake Y.	学会報告	Role of ArhGAP29 in VEGF-induced network formation and migration of vascular endothelial cells 第89回日本生化学会大会 仙台市 (2016/9/30)
Terao Y., Fujita H., Horibe S., Sato J., Minami S., Hirata K., Rikitake Y.	学会報告	Importance of N-glycosylation in the Secretion of FAM5C interacting with UDP-glucose glycoprotein glycosyltransferase (UGGT1) 第89回日本生化学会大会 仙台市 (2016/9/30)
Hayashi T., Sasaki N., Yamashita T., Emoto T., Mizoguchi T., Yoshida N., Tabata T., Amin HZ., Hirata K.	学会報告	Ultraviolet B Exposure Limits Angiotensin II-Induced Abdominal Aortic Aneurysm Formation in Mice 第24回日本血管生物医学会学術集会 長崎市 (2016/12/8)
堀部紗世、力武良行	学会報告	Establishment and characterization of cisplatin-resistant human lung cancer cell lines 第75回日本癌学会学術総会 横浜 (2016/10/7)
田中一也、堀部紗世、清田実希、松尾杏奈、河内正二、力武良行	学会報告	エクソソームの細胞内取り込み能とレシピエント細胞のカベオリン-1発現との関連 第63回日本生化学会近畿支部例会 神戸市 (2016/5/21)
和田諭可子、堀部紗世、中原諒子、平沼朋子、河内正二、力武良行	学会報告	ヒト肺がん由来A549細胞を用いた耐性度の異なるCDDP耐性細胞の樹立とその特性 第63回日本生化学会近畿支部例会 神戸市 (2016/5/21)
Yamanaka K., Sasaki N., Fujita Y., Kawamoto A., Hirata K., Okita Y.	論文	Impact of acquired and innate immunity on spinal cord ischemia and reperfusion injury. <i>Gen Thorac Cardiovasc Surg.</i> 64 251-259 (2016) 査読有り
Emoto T., Yamashita T., Sasaki N., Hirota Y., Hayashi T., So A., Kasahara K., Yodoi K., Matsumoto T., Mizoguchi T., Ogawa W., Hirata K.	論文	Analysis of gut microbiota in coronary artery disease patients: a possible link between gut microbiota and coronary artery disease. <i>Atheroscler Thromb.</i> 23 908-921 (2016) 査読有り
Matsumoto T., Sasaki N., Yamashita T., Emoto T., Kasahara K., Mizoguchi T., Hayashi T., Yodoi K., Kitano N., Saito T., Yamaguchi T., Hirata K.	論文	Overexpression of CTLA-4 prevents atherosclerosis in mice. <i>Arterioscler Thromb Vasc Biol.</i> 36 1141-1151 (2016) 査読有り
Miyata M., Mandai K., Maruo T., Sato J., Shiotani H., Kaito A., Itoh Y., Wang S., Fujiwara T., Mizoguchi A., Takai Y., Rikitake Y.	論文	Localization of nectin-2 δ at perivascular astrocytic endfoot processes and degeneration of astrocytes and neurons in nectin-2 knockout mouse brain. <i>Brain Res.</i> 1649(Pt A) 90-101 (2016) 査読有り
Horibe S., Tanahashi T., Kawauchi S., Mizuno S., Rikitake Y.	論文	Preventative effects of sodium alginate on indomethacin-induced small-intestinal injury in mice. <i>Int. J. Med. Sci.</i> 13(9): 653-663 (2016) 査読有り

多河 典子, 浅川 明弘, 藤波 綾, 乾 明夫, 加藤 郁夫	学会報告	マウス肝臓におけるエネルギー代謝関連ペプチドadropinの発現について 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/29)
多河 典子, 浅川 明弘, 藤波 綾, 乾 明夫, 加藤 郁夫	学会報告	エネルギー代謝関連ペプチドadropinの発現について 第56回日本臨床化学会年次学術集会 熊本 (2016/12/3)
多河 典子, 浅川 明弘, 藤波 綾1), 乾 明夫, 加藤 郁夫	学会報告	肥満モデルマウス肝臓及び視床下部でのadropinの発現について 第37回日本肥満学会 東京 (2016/10/8)
多河 典子, 浅川 明弘, 藤波 綾, 乾 明夫, 加藤 郁夫	学会報告	肥満モデルマウスTSODにおけるghrelinの摂食促進作用について 第89回 日本内分泌学会学術総会 京都 (2016/4/21)
波多江 崇, 竹下治範, 竹永由紀子	著書	薬学生・薬剤師のための添付文書徹底活用術 -Q & Aで学ぶ適正使用10事例 薬事日報社 (2016)
藪田有沙, 竹下治範, 北 沙織, 猪野 彩, 若林知子, 原田祐希, 波多江 崇, 中川素子, 中川道昭, 濱口常男	学会報告	PTP包装からの錠剤の押し出し方法の調査 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/27)
北 沙織, 竹下治範, 藪田有沙, 猪野 彩, 若林知子, 原田祐希, 波多江 崇, 中川素子, 中川道昭, 濱口常男	学会報告	PTP包装からの錠剤の押し出し力に及ぼす製剤間の影響 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/27)
沖津 貴志	講演	レチノイン酸を母核とするRXRアゴニストの探索 日本レチノイド研究会第27回学術集会 町田 (2016/10/22)
沖津 貴志	講演	窒素共役型多重結合の特性を生かした複素環合成法の開発 第2回近畿薬学シンポジウム:化学系の若い力 吹田 (2016/6/4)
沖津 貴志	講演	ヨード環化反応を基軸とする複素環合成 創薬基盤化学研究 若手セミナー 第14回特別講演会 草津 (2016/3/18)
和田 昭盛, 山野 由美子, 沖津 貴志, 石塚 徹, 八尾 寛, 山下 高廣, 今元 泰, 七田 芳則	講演	新規チャンネルロドプシンの開発 日本薬学会第136年会 横浜 (2016/3/27)
沖津 貴志, 杉原 僚祐, 俣野 文隆, 中東 光, 福田 一起, 尹 康子, 和田 昭盛	学会報告	シリル基を配向基とするプロパルギルグリシン類のヨード環化反応 第42回反応と合成の進歩シンポジウム 静岡 (2016/11/7)
山野 由美子, 諏訪脇 幸歩, 菅原 史仁, 和田 昭盛	学会報告	Siphonaxanthinの合成研究 第42回反応と合成の進歩シンポジウム 静岡 (2016/11/7)
和田 昭盛, 山野 由美子, 沖津 貴志, 山下 高廣, 今本 泰, 七田 芳則	学会報告	レチナール環構造に共役系を導入したアナログの合成とタンパク質オプシンとの相互作用 日本レチノイド研究会第27回学術集会 町田 (2016/10/21)
沖津 貴志, 吉田 裕司, 小林 恵子, 松井 佑記, 大西 莉加, 安田 峻佑, 和田 昭盛	学会報告	ドナーアクセプター置換1,2-ジアゼチジンの求核的開環反応 第46回複素環化学討論会 金沢 (2016/9/27)
沖津 貴志, 杉原 僚祐, 俣野 文隆, 中東 光, 福田 一起, 尹 康子, 和田 昭盛	学会報告	シリル基の配向性を利用した6-exo-dig型ヨード環化反応 第19回ヨウ素学会シンポジウム 千葉 (2016/9/16)
田谷 大輔, 細川 雅史, 宮下 和夫, 山野 由美子, 和田 昭盛	学会報告	新規フコキサンチン開裂物の同定と活性化マクロファージに対する抗炎症作用 日本油化学会第55年会 奈良 (2016/9/8)
沖津 貴志, 池田 裕明, 安田 峻佑, 和田 昭盛	学会報告	1,2-ジアゼチジン類と芳香族化合物のFriedel-Crafts型反応 第36回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」 京都 (2016/8/9)
田谷 大輔, 細川 雅史, 宮下 和夫, 山野 由美子, 和田 昭盛	学会報告	マウス生体内における新規フコキサンチン代謝物の同定と抗炎症作用 第30回カロテノイド研究談話会 沖縄県恩納村 (2016/6/26)
細川 雅史, 小林 乗時, 小林 次郎, 三上 浩司, 宮下 和夫, 山野 由美子, 和田 昭盛	学会報告	紅藻スピリリノのカロテノイド生合成経路の解析 第30回カロテノイド研究談話会 沖縄県恩納村 (2016/6/25)
眞岡 孝至, 西野 梓, 安井 裕之, 山野 由美子, 和田 昭盛	学会報告	貝類やホヤ類はなぜfucoxanthinをmytiloxanthinに変換するのか抗酸化活性からの考察 第30回カロテノイド研究談話会 沖縄県恩納村 (2016/6/25)
山野 由美子, 諏訪脇 幸歩, 菅原 史仁, 和田 昭盛	学会報告	Siphonaxanthinの合成研究 第30回カロテノイド研究談話会 沖縄県恩納村 (2016/6/25)

神崎 さくら子、石井 菜紬子、沖津 貴志、和田 昭盛	学会報告	共役したクロメン環を有するレチナールアナログの合成研究 日本ビタミン学会第68回大会 富山（2016/6/18）
山野 由美子、吉武 亮人、高木 純一、沖津 貴志、和田 昭盛	学会報告	3位および4位に共役鎖を導入したレチナールアナログの合成 日本薬学会第136年会 横浜（2016/3/28）
石井 菜紬子、神崎 さくら子、沖津 貴志、和田 昭盛	学会報告	クロメン環含有レチナールアナログの合成 日本薬学会第136年会 横浜（2016/3/28）
沖津 貴志、水谷 卓史、山野 由美子、和田 昭盛	学会報告	近赤外光を吸収する人工ChR2作製を指向したインドリン含有発色団の開発 日本薬学会第136年会 横浜（2016/3/28）
渡邊 瞭、津川 俊宏、福本 大輔、山野 由美子、和田 昭盛	学会報告	アリールアルキル置換プロパルギルエーテル類のヒドロアリール化反応 日本薬学会第136年会 横浜（2016/3/28）
沖津 貴志	学会報告	イナミドのヨード環化反応 第19回生理活性をあまり意図しない自由な天然物合成勉強会 東京（2016/3/5）
Luk H. L., Bhattacharyya N., Montisci F., Morrow J. M., Melaccio F., Wada A., Sheves M., Fanelli F., Chang B. S. W., Olivucci M.	論文	Modulation of thermal noise and spectral sensitivity in Lake Baikal cottoid fish rhodopsins <i>Sci. Rep.</i> 6 38425 10.1038/srep38425（2016）査読有り
Okitsu T., Ogasahara M., Wada A.	論文	Convergent Synthesis of Dronedarone, an Antiarrhythmic Agent <i>Chem. Pharm. Bull.</i> 64(8) 1149-1153 10.1248/cpb.c16-00237（2016）査読有り
水谷 暢明、土生 康司、宮田 興子	学会報告	薬学統合学習の構築 —臨床薬学—薬理学—有機化学の橋渡し教育を目指して— 第1回日本薬学教育学会 京都（2016/8/28）
土生 康司、八巻 耕也、上田 昌史、上田 久美子、江本 憲明、水谷 暢明、池田 宏二、八木 敬子、田中 将史、中山 善明、武田 紀彦、森脇 健介、北河 修治	学会報告	初年次生に対する分野横断的統合型教育科目「薬学入門」の学習効果 日本薬学会第136年会 横浜（2016/3/27）
川西 晶子、土生 康司、森本 涼歩、平井 三保子、林 淳雄、辻井 佳代、籠本 基成、小林 政彦、杉山 正敏	学会報告	大阪赤十字病院における免疫抑制・化学療法によるHBV 再活性化対策の現状と課題 日本薬学会第136年会 横浜（2016/3/27）
八巻 耕也、吉野 伸	学会報告	IgE 免疫複合体のアレルギー反応依存的な皮膚への斑点状の分布 第130回日本薬理学会近畿部会 京都（2016/11/19）
八巻 耕也、吉野 伸	学会報告	皮膚における蛍光免疫複合体の斑点状の分布 (ASDIS)を指標とする新規マウスアレルギーモデル 第50回日本実験動物技術者協会総会 川越（2016/9/30-10/1）
八巻 耕也、吉野 伸	学会報告	抗原の特徴的分布 (ASDIS) を指標とする簡便で迅速な新規アレルギーマウスモデルの確立 日本薬学会第136年会 横浜（2016/3/27）
水谷 暢明、吉野 伸	学会報告	ダニ抗原により誘導されるアトピー性皮膚炎様症状におけるCD8+細胞の役割 第65回アレルギー学会 東京（2016/6/17,18,19）
水谷暢明、奈邊 健、吉野 伸	学会報告	ダニ抗原により誘導されるアトピー性皮膚炎様症状におけるIL-17Aの役割 第129回日本薬理学会近畿部会 広島（2016/6/24）
水谷暢明、奈邊 健、吉野 伸	学会報告	ダニ抗原により誘導されるアトピー性皮膚炎様症状におけるCD4+細胞の役割 第136回 日本薬学会 横浜（2016/3/27,28,29）
八巻 耕也	総説	IgA の免疫抑制作用 — インフラメーjing(加齢と慢性炎症のスパイラル)抑制戦略への期待 — アレルギーの臨床 36 955-958（2016）査読無し

Yamaki K., Yoshino S.	論文	A new, rapid in vivo method to evaluate allergic responses through distinctive distribution of a fluorescent-labeled immune complex: Potential to investigate anti-allergic effects of compounds administered either systemically or topically to the skin. <i>J. Immunol. Methods</i> 428 58-68 (2016) 査読有り
Yamaki K, Yoshino S.	論文	IgA directly inhibits antigen-dependent B cell activation following distinctive distribution of the antigen in mice. <i>Immunopharmacol. Immunotoxicol.</i> 38(2) 131-144 (2016) 査読有り
八巻 耕也, 吉野 伸	論文	ラットの卵白アルブミンへの感作に対するマウス抗卵白アルブミン IgA の抑制作用 応用薬理 90(3/4) 41-45 (2016) 査読有り
Sae-Wong C, Mizutani N, Kangsanant S, Yoshino S.	論文	Topical skin treatment with Fab fragments of an allergen-specific IgG1 monoclonal antibody suppresses allergen-induced atopic dermatitis-like skin lesions in mice. <i>Eur J Pharmacol.</i> 779 131-137 (2016) 査読有り
Yoshino S, Mizutani N.	論文	Intranasal exposure to monoclonal antibody Fab fragments to Japanese cedar pollen Cry j1 suppresses Japanese cedar pollen-induced allergic rhinitis. <i>Br J Pharmacol.</i> 173 1629-1638 (2016) 査読有り
Hiroto Kinutani1, Toshiro Shinke1, Hiromasa Otake1, Tomofumi Takaya1, Tsuyoshi Osue1, Akihide Konishi1, Masaru Kuroda1, Hachidai Takahashi1, Daisuke Terashita1, Kenzo Uzu1, Daiji Kashiwagi1, Koji Kuroda1, Natsuko Tahara1, Yoshinori Nagawsawa1, Noriaki Emoto1,2, Kazuhiko Nakayama1, Yu Taniguchi1, Yuto Shinkura1, Ken-ichi Hirata	学会報告	The Assessment of Exercise Tolerance and Oxygenation after Balloon Pulmonary Angioplasty for Inoperable Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension Patients 第79回日本循環器学会総会 日本 大阪 (2016/4/24)
小山淳子, 児玉典子, 北河修治	学会報告	神戸薬科大学におけるIR (Institutional Research) について 日本薬学会136年会 横浜市 (2016/3/27)
児玉典子, 小山淳子	学会報告	初年次教育における反転授業とジグソー法を組み合わせたアクティブ・ラーニングの試み 日本薬学会136年会 横浜市 (2016/3/27)
児玉典子, 川西和子, 田中将史, 藤波綾	著書	HUMAN READER life and disease 生命科学英語 第2版 (2016)
木口 裕貴, 藤田 真聡, 片山 恵美子, 大山 浩之, 森田 いずみ, 小林 典裕	学会報告	高性能変異抗体の効率的単離を目的とする抗ファージ抗体scFv-GLuc融合体の調製 日本薬学会第136年横浜 (2016/3/28)
山本 知佳, 大山 浩之, 木口 裕貴, 森田 いずみ, 小林 典裕	学会報告	抗エストラジオールscFv試験管内親和性成熟機構の解析(2) 日本薬学会第136年 横浜 (2016/3/28)
黒田 裕美, 森田 いずみ, 伊藤 綾, 小山千尋, 池田 夏美, 大山 浩之, 小林 典裕	学会報告	オンサイト分析を目的とするTeoc化覚せいアミンに対するモノクローナル抗体の作製 日本薬学会第136年 横浜 (2016/3/28)
Tamori A, Murakami Y, Kubo S, Itami S, Uchida-Kobayashi S, Morikawa H, Enomoto M, Takemura S, Tanahashi T, Taguchi YH, Kawada N.	論文	MicroRNA expression in hepatocellular carcinoma after the eradication of chronic hepatitis virus C infection using interferon therapy. <i>Hepatal Res.</i> 46(3) E26-35 doi/10/1111 (2016) 査読有り
森脇 健介	解説	医療経済からみた骨粗鬆症治療 medicina 53(3) 430-433 (2016) 査読無し